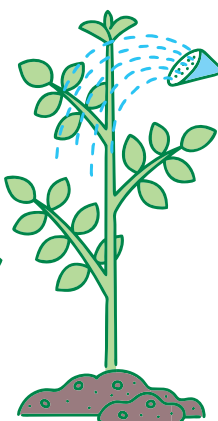


Co-op Mirai Profile

# 生活協同組合 コープみらい案内

2026-2027



co-op  
コープみらい

「ともに」の力で、笑顔の明日を



# 「ともに」の力で、 あした 笑顔の明日を



私たちは、どんな未来を実現したいでしょうか。

私たちの食や暮らし、そして環境は日々変化し、  
この先も予測できない困難が待ち受けているかもしれません。  
そんな時代だからこそ、人と人がつながる「生協」が果たすべき  
役割があります。

組合員と働く仲間がともに掲げる「ビジョン2035」。

そのメインメッセージは、

“食べるしあわせ、自分らしい暮らし 「ともに」の力で、笑顔の明日を”。

これが、私たちの目指す2035年のありたい姿です。

一人ひとりの助け合いの気持ちと行動。

コープデリグループが培ってきた事業と活動の総合力。

そして、生産者・お取引先・地域・行政の皆さまと手を取り合う協同の力。

これらの力が一つに合わさることで、

誰もが幸せで、笑顔でいられる明日を創り上げていきたい。

その強い想いを、このビジョンに込めています。

理想の未来の実現に向け、私たちの挑戦はこれからも続きます。







## 理念

# CO-OP

## ともに はぐくむ 暮らしと未来

理念は、数十年変わらない、私たちの存在意義、存在理由、使命です。  
どんなに社会が変化しても、生協がどうあるべきかを指し示す「北極星」のようなものです。

## ビジョン2035

食べるしあわせ、自分らしい暮らし  
「ともに」の力で、笑顔の明日を<sup>あした</sup>

私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で  
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります

ビジョンは、10年後の目指す姿を具体的な言葉で表したものです。  
組合員・働く仲間がともに掲げ、実現に向けた取り組みを進めています。

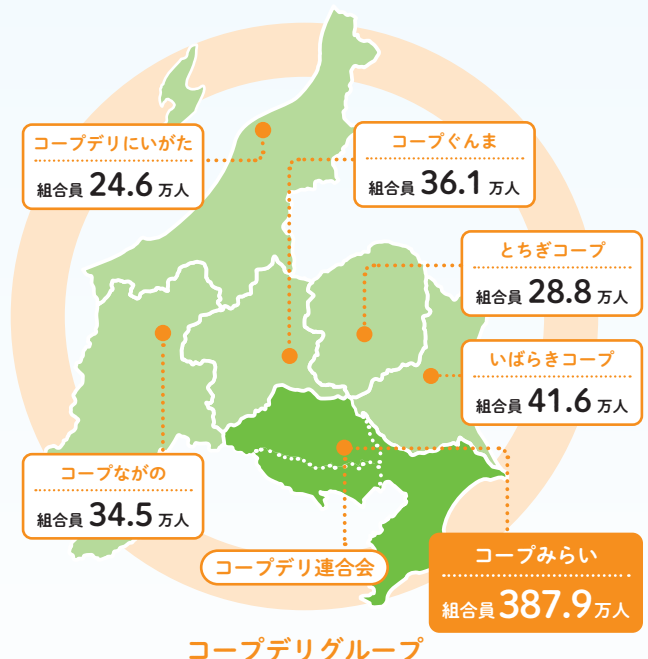
## コープみらいはコープデリグループの一員です

「コープ」という名称は、協同組合を意味する“co-operative”に由来します。組合員一人ひとりが「出資」し、事業や活動の「運営」に参加し、サービスを「利用」する生活協同組合(生協)です。日々の暮らしの願いを持ち寄り、助け合いを通じて形にしていく組織です。

コープみらいは、理念とビジョンをともにするコープデリグループの一員です。グループ全体の事業高の約7割を担う最大規模の会員生協として、事業インフラを支えるコープデリ連合会と一体的な運営を推進。グループの成長を力強く牽引しています。

### 生協(消費生活協同組合)とは

組合員による「出資」「利用」  
「運営」により生協は成り立っています。



組合員数は2026年3月20日現在

# コープデリ 宅配 事業



“

つかうほど、じぶんらしく。

いつもの笑顔に、

いつものふれあいを。

”

「つかうほど、じぶんらしく。」をブランドメッセージに掲げ、一人ひとりのライフスタイルに寄り添う宅配サービスを展開しています。配達時には、毎週決まった担当者が商品とともに“安心”をお届け。ささやかなコミュニケーションを通じて、組合員の皆さまと直接つながることを大切にしています。

「いつもの担当者、お気に入りの商品、そして何気ない会話で笑顔があふれるひとときを。」それは、私たちが宅配事業を通じて組合員の皆さまとともに創り上げたい、かけがえのない日常のかたちです。



## じぶんらしい生活を支える2つの宅配コース

週に1回、食品や日用品など6,000品目以上の豊富なラインナップからお届けする「ウイークリーコープ」と、週3日からお弁当(夕食宅配)やミルクキットをお届けする「デイリーコープ」をご用意。バラエティ豊かな選択肢の中から、お気に入りの商品やくらしのリズムに合わせて、最適なコースをお選びいただけます。



## 配達と見守りで「地域の安心」に貢献

コープデリ宅配では、約4,000台のトラックが毎週決まった曜日時間帯に、同じルートを巡って商品を届けています。こうした事業の特性を活かし、コープみらいは千葉県・埼玉県・東京都の全自治体(島しょ部を除く)と「高齢者等の見守り協定」などを締結。宅配や店舗での活動を通じ、行政と連携しながら「地域と住まう人の安心」を守る見守り活動を推進しています。





## コープデリ 店舗 事業



### 品質とおいしさにこだわったコープならではの商品

コープ商品や産直品を中心に、「コープならではの」価値ある商品をバラエティ豊かに取りそろえています。おいしさはもちろん、品質・価格・産地に徹底してこだわり、誰もが安心して選べるラインナップを追求しました。

また、株式会社コープデリフーズが運営する店舗専用の惣菜工場「桶川デリカセンター」では、独自のおいしさと品質を追求した商品開発を推進。売り場のさらなる魅力向上を図っています。



### フードドライブで「もったいない」を「ありがとう」に

フードドライブは、ご家庭で眠っている品質に問題のない未開封の食品を持ち寄り、地域のフードバンクや福祉団体などを通じて必要としている方々へ寄贈する活動です。

コープみらいの各店舗では、皆さまからの食品をお預かりする専用ボックスを常設しています。食品ロスを減らし、地域の助け合いを形にするこの取り組みを、私たちは大切に継続しています。

※フードドライブ専用ボックスは一部店舗と組合員施設に常設しています



“  
おいさと安心を、  
うれしい価格で。  
生活を応援する売り場づくり。”

”

「おいさと安心を、うれしい価格で。」を事業目標に掲げ、毎日の暮らしに役立つ商品が必ず見つかるような、魅力ある売り場づくりに邁進しています。

店舗形態も、スーパーマーケット(SM店)から地域に密着した小型店「ミニコープ」、そして「ネットスーパー」まで幅広く展開。さらにお買い物にお困りの地域へは「移動店舗」で何うなど、多様なニーズにお応えしています。

いつでも、どこでも、一人ひとりのライフスタイルに合わせて便利にご利用いただけるよう、そして訪れるたびに喜びを感じていただけるよう、これからも理想の店舗と売り場づくりを追求してまいります。

※ネットスーパー、移動店舗は一部地域で展開しています



# そのほか の事業

“  
多彩なサービスを展開し、  
地域に、社会に、笑顔を広げています。  
”

## 福祉事業



## 住み慣れた自宅や地域で自分らしく

居宅介護支援や訪問介護・看護、デイサービス、障害福祉サービスなどの多角的な支援に加え、(看護)小規模多機能ホーム「コープ夢みらい」やサービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ」を運営しています。これらの幅広いサービスを通じて、一人ひとりに寄り添い、「住み慣れた自宅や地域で最期まで安心して暮らしたい」という組合員の思いに応えています。

## 保障事業



## 未来の暮らしに寄り添う保障 (共済・保険)

CO・OP 共済は、生協の保障事業として組合員の声を反映し、手頃な掛金や充実した保障内容、簡便な手続きの実現に向けた改善を常に続けています。グループ会社の株式会社コープデリ保険センターでは、一般社団法人生命保険協会による「業務品質評価運営」の認定代理店として、より質の高い安心を提供。組合員とそのご家族に寄り添い、役立つ事業を目指しています。

## サービス事業



## 毎日の暮らしに役立つサービスを提供

株式会社コープデリサービスは、コープデリグループの一員として、日々の暮らしに役立つさまざまなサービスをお届けしています。チケット部門では心がはずむ体験や感動をお届けし、暮らしのサービスおよびハウジング事業では日々の生活に寄り添い、お一人おひとりの心地よい住まいづくりと生活をサポートします。また、葬祭事業(コプセ)では故人への感謝の気持ちを大切に、ご遺族が新たな暮らしを踏み出すお手伝いをしています。

## エネルギー供給事業



## くらしにやさしい コープデリでんき、コープデリガス

コープデリグループの事業所に設置した太陽光発電パネルによる発電電力を含む「再生可能エネルギー100%メニュー」と、手頃な価格の「ベーシックメニュー」の2種類からなる「コープデリでんき」を提供しています。また、コープみらいでは経済性を追求した都市ガス事業「コープデリガス」も展開。エネルギーの供給を通じて、環境負荷の低減と家計にやさしい暮らしをサポートしています。

## カルチャー事業



## 初心者やシニアも安心！ コープみらいカルチャーで彩りある毎日

「コープみらいカルチャー」は、埼玉・東京エリアで展開している組合員向けの習い事事業です。料理や手芸、ダンス、音楽など、知的好奇心を満たす多彩な講座をご用意。初心者やシニアの方でも安心して通える和やかな雰囲気が魅力です。1日完結の短期講座も充実しており、交流を楽しみながら自分らしい「自分磨き」ができる場を提供しています。

# 商品開発・ 管理



“

フードチェーン全体で食品の安全性と品質の確保に  
努め、普段の暮らしに役立つ商品提供を通して、  
健康的な生活と豊かで楽しい食卓を応援します。

”

## 組合員の“想いをかたちに”したコープ商品

コープ商品は、「安全性の確保」「確かな品質」「利用しやすい価格」「わかりやすい情報提供」を基準に、組合員の声に耳を傾けながら開発・改善を行っています。商品を通じた対話を重ね、日本生活協同組合連合会とともに、組合員の暮らしをより豊かにする価値ある商品づくりを続けています。



## 声をかたちに、より良い商品へ

日常の暮らしの中の気づきを「組合員の声」として届けていただくことが、コープへの大切な参加のかたちであり、商品の改善へとつながります。2025年度はコープデリグループ全体で約14万件ものご意見が寄せられました。私たちは、いただいた声を既存商品のブラッシュアップや新商品の開発、サービスの向上に反映させています。



## 組合員・生産者とともに取り組む「産直」

1970年代に始まったコープデリの「産直」は、生産者と組合員が顔の見える関係をつくり、安全性が確保され、おいしさと環境配慮を兼ね備えた、生い立ちがはっきりわかる農畜水産物をお届けする取り組みです。多面的な交流やパートナーシップを通じて信頼関係を築き、持続可能な農畜水産物の生産と消費を支え、未来へつなぐことを目指しています。



## 安全と安心を見守る商品検査センター

コープデリ連合会が独自の商品検査センターを運営し、残留農薬、微生物、食物アレルギー、食品添加物、放射性物質など、年間約1万4千件(2025年度)におよぶ検査を実施しています。法令および自主基準への適合性を科学的な視点で厳格に判定し、継続的な品質改善を推進。また、組合員から寄せられたお申し出に関する検査にも迅速に対応し、食の安全・安心を支えています。



## トピックス

### 伊平屋島産もずくが、海の資源を守る MEL 認証を取得

沖縄県・伊平屋島産もずくが、日本発の水産エコラベル認証制度「MEL」の養殖認証を取得しました。これは、島の人々が豊かな自然と共存しながら、持続可能な養殖を行っていることが認められた証です。背景には、「美ら島応援もずくプロジェクト」があります。対象商品1点の利用につき1円を寄付し、島の自然環境・生物多様性の保全を支援する取り組みです。環境に配慮した「選んで食べる」仕組みが、国際基準の認証取得という形で結実しました。



# 組合員 活動



コープみらいが大切にしているのは、

一人ひとりの「やってみたい」という気持ちです。

組合員も、地域にお住まいの方も、誰もが主役になれる場所をたくさん作っています。

一緒に笑い、語り合い、いざという時には支え合える。

そんな「地域の絆」を育てながら、安心と笑顔があふれる毎日を

皆さんと一緒に広げていきます。

## 地域の誰もが集える居場所 「みらいひろば」

組合員も地域の方も、誰もが気軽に立ち寄れる地域の居場所です。コープ商品を囲んで楽しくおしゃべりしたり、暮らしに役立つ情報を交換したり。そんな交流の場を、各地域で毎月開催しています。



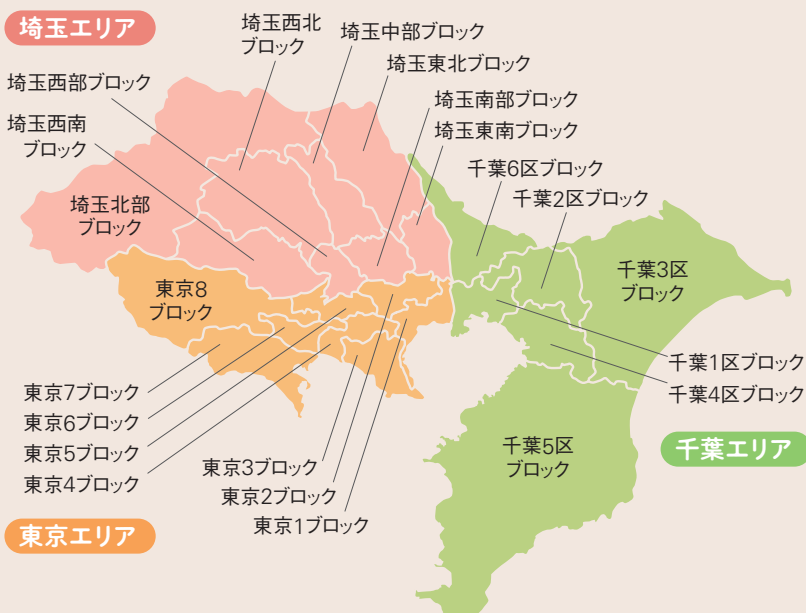
## 子育て中の方同士で つながる「子育てひろば」

「育児の悩みを共有したい」「誰かとお話したい」。そんな思いを抱える親子のための、気軽な交流の場です。親子でリフレッシュしながら、子育て仲間とのつながりを作ることができます。



## 組合員活動を支える 22のブロック

地域の組合員活動を支える拠点が「ブロック」です。コープみらいの全エリアを22のブロックに分け、それぞれの地域に「ブロック委員会」を設置しています。ここでは、地域と人をつなぐコーディネーター役の組合員「ブロック委員」が、コープのファンを増やし、より良い地域づくりを進めるためのさまざまな活動をサポートしています。



## 組合員同士の助け合い 「くらしのたすけあいの会」

「ちょっと困ったな」という組合員と、「自分にできることで役に立ちたい」という組合員が地域の中で手を取り合う、お互いさまの活動です。くらしの中のちょっとした困りごとを、組合員同士のつながりで解決していく、心のこもった助け合いの仕組みです。



## 活動サポーターによる 「出前授業」

食育、環境、防災・減災などの大切なテーマを、体験を通して楽しく学べる「出前授業」をお届けしています。地域のニーズに合わせて、知識豊富な活動サポーターが学校などへ直接訪問。子どもたちの「知りたい!」という気持ちを、体験型のプログラムで引き出します。



## 組合員の自主的な活動を サポート「地域クラブ」

食、子育て、福祉、平和など、くらしに関わるテーマで組合員と地域の方が主体的につなぎ、継続的に活動するグループを「地域クラブ」としてサポートしています。



## コープみらい財団を通じた 社会貢献

### 奨学金給付事業

コープみらいの社会活動を推進する事業を行う、一般財団法人コープみらい社会活動財団(略称:コープみらい財団)では、ひとり親家庭(両親のいない方も含む)の高校生・高等専門学校生を対象に、返済不要の「給付型奨学金」を届けています。コープみらい財団の柱となるこの事業の大きな特徴は、奨学金が組合員の募金に支えられている「助け合い」の制度であること。3万人を超える奨学金応援サポーターに支えられ、2026年度の奨学生(3学年合計)は計1,721人になりました。



### 社会貢献活動助成事業

もうひとつの柱が、地域の未来を形にする「くらしと地域づくり助成」です。地域の活性化や環境保全等に取り組む市民団体を応援しており、これまでに750以上の団体へ8,831万円の助成を行ってきました。

また、フードバンクや社会福祉協議会などを通じてお米を寄贈。生活に困窮されている方々を地域社会と一緒に支えています。

持続可能な社会へ

SDGs



“

一歩ずつ、持続可能な社会に向かって歩いていく。  
笑顔あふれる未来へつなぐために。

”

# 未来へつなごう

コープみらいは、2030年に向けた世界共通の取り組みであるSDGsの目標達成に向け、コープデリグループとして5つの重点課題を設定。「未来へつなごう」をスローガンに、持続可能な生産と消費や、地域社会や組合員のくらしで生まれた課題の解決のために、事業と活動を通してさまざまな取り組みを推進しています。

## 01 持続可能な生産と消費のために

エシカル商品の開発・普及で共感を広げ、人権や環境に配慮した責任ある調達を推進します。産地と連携し持続可能な生産・消費に貢献するとともに、事業と家庭の両面で容器包装プラスチック、食品ロスの削減に取り組みます。

### SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



### 商品を通じた持続可能な社会づくり

組合員が商品を利用することで、自然環境の保護や社会課題の解決に無理なく参加できる取り組みを進めています。この活動を通じて、生物多様性の保全に貢献し、持続可能な農業を推進するほか、アフリカの子ども・母親への支援など、幅広い社会貢献を実現しています。



美ら島応援もずくプロジェクト



佐渡トキ応援お米プロジェクト



お米育ち豚プロジェクト



ハッピーミルクプロジェクト

## 02 安心して暮らせる地域づくりのために

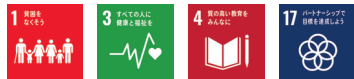
地域を支えるインフラとして事業改善を続け、自治体や住民と連携した支え合いの仕組み作りを推進します。また、被災地の復興支援に加え、防災・減災に向けた地域との協力体制を強化し、安心できるくらしを守り続けます。

### SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



### 災害復興支援、生活困窮者支援

地震や豪雨などの自然災害が頻発する中、組合員への募金呼びかけや被災地への職員派遣など、復興支援に注力しています。また、フードバンクや社会福祉協議会などを通じた食料支援のほか、ひとり親世帯や両親のいない家庭の高校生を対象とした、返済不要の奨学金給付事業を展開。困難な状況にある方々に寄り添い、地域社会のセーフティネットとしての役割を果たしています。

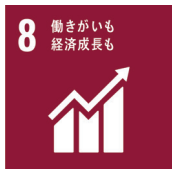


## 03 人にやさしく誇りが持てる組織を目指して

人権と多様性を尊重し、誰もが個性や能力を活かして活躍できる組織を目指します。特にジェンダー平等の実現を重視し、性別を問わず全ての職員が等しく役割を発揮し、生き生きと働ける環境づくりを推進します。

### SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



## 働く人と働き方の多様性を尊重

不妊治療や育児・介護との両立、女性職員の育成・キャリア開発、シニア活躍など、多様な職員が個性や能力を発揮し、「ウェルビーイング」を実感できる職場づくりに取り組んでいます。「健康経営優良法人」の認定を受け、誰もが幸せに働ける組織を目指します。



健康経営優良法人2026  
(大規模法人部門)に認定

## 04 100年後の地球のために

温室効果ガスの削減を推進します。再生可能エネルギーの利用拡大により持続可能な社会へ貢献するとともに、生物多様性の保全や自然回復に向けた環境活動を広げます。

### SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



## 地球温暖化防止

宅配センターや店舗などの施設に設置した太陽光発電パネルや、店舗から排出される食品残さの一部を利用したバイオガス発電の電気など、再生可能エネルギーの創出と活用を進めています。また、電動化(EV導入)を主とした車両燃料の低炭素化を推進しています。



## 05 世界中の人々の平和で健康な生活のために

飢餓や貧困の解消、子どもの健やかな成長と人権保護に努め、世界の平和に貢献します。核兵器廃絶と戦争のない未来を目指し、平和について学び、その大切さを次世代へ語り継ぐ活動を積極的に推進します。

### SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



## ハッピーミルクプロジェクト

アフリカでは自然災害や栄養不良により、今も多くの子どもたちが命の危険にさらされています。コープデリグループは「コープの牛乳で子どもたちを笑顔に」を合言葉に、2008年から「ハッピーミルクプロジェクト」を展開。コープの牛乳の売上の一部をユニセフへ寄付することで、現地の栄養改善活動を継続的に支援し、幼い命を守る取り組みを進めています。



# ごあいさつ

代表理事 理事長 くまざき しん 熊崎 伸



コープみらいの事業と活動への皆さまのご協力ご支援に、心より御礼申し上げます。

コープみらいは、コープデリグループの一員として同じ理念・ビジョンとSDGs重点課題を掲げ、持続可能な社会づくりに取り組んでいます。生協の取り組みと、SDGsの目指す方向は同じです。私たちは「未来へつなごう」をスローガンに、商品やサービスの提供、地域とのつながりづくり、そして組合員の参加と協同を通じて、持続可能な暮らしと地域社会の実現に取り組んでいます。

世界では、中東をはじめ各地で紛争・戦争が激化し、私たちはかつてない危機に直面しています。平和とは、あたりまえの日常が続くこと。誰もが笑顔で暮らせる平和な未来を次世代に引き継ぐため、このたび「コープみらいが平和の取り組みで大切にすること」を策定しました。また2026年核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議には、生協代表団にコープみらいとして参加し、核兵器廃絶を強く訴えました。これからも地域の皆さまとともに、平和を願う歩みを前進させてまいります。

一方、国内では大規模な地震や豪雨など自然災害が相次いでいます。2024年の能登半島地震・豪雨災害では今なお多くの方が大変なご苦労を重ねています。コープみら

いでは、組合員の皆さまからお寄せいただいた募金をもとに、くらしやコミュニティの再建など被災された方々に寄り添った支援を続けています。「忘れない・伝える・続ける・つなげる」を合い言葉に、被災された方々に笑顔が戻るその日まで支援を続ける所存です。

物価高騰が長引き、くらしを取り巻く状況が厳しさを増す中でも、私たちの「助け合いの輪」は確実に広がっています。ひとり親・両親がいない家庭の高校生・高等専門学校生を支援する奨学金給付事業では、毎月定額の募金で支える「奨学金応援サポーター」が3万人を超えました。1,700人以上の奨学生が夢を追いかけるための大きな糧となっています。引き続き、皆さまのあたたかいご支援をお願いいたします。

コープみらいはこれからも、気候変動への対応、資源循環の推進、人権を尊重した事業活動などに取り組み、事業と活動の総合力で誰ひとり取り残さない社会の実現を目指します。生産者・取引先の皆さま、行政・諸団体の皆さまとのパートナーシップをいっそう大切に、「ともに」の力で笑顔の明日を迎えられる社会を築いてまいります。

2026年6月

## 沿革

- 2008年度 ○ 改正生協法施行で都道府県域を越えた生協の合併が可能に
- 2009年度 ○ ちばコープ・さいたまコープ・コープとうきょうによる組織合同検討委員会発足
- 2012年度 ○ 組織合同を3生協の臨時総代会で承認可決
- 2013年度 ○ 生活協同組合コープみらい発足、コープデリ連合会との一体運営開始  
○ 組合員数300万人に  
○ 3都県で初めて「コープみらいフェスタ」開催  
○ 移動店舗事業を千葉県袖ヶ浦市を中心に開始
- 2014年度 ○ サービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ四街道」開設  
○ コープデリグループ「ビジョン2025」策定  
○ コープみらいカレッジ開校
- 2015年度 ○ 一般財団法人コープみらい社会活動財団設立  
○ 「みらいひろば」スタート  
○ コープみらいとして初の新店、コープ高倉店オープン
- 2016年度 ○ サービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ中野」開設  
○ コープ調布染地店、コープ府中寿町店、コープ中野中央店、コープ指扇店オープン
- 2017年度 ○ 「コープデリでんき」開始  
○ コープ中野鷺宮店、コープ東村山秋津町店オープン  
○ 店舗に常設型のフードドライブ食品回収ボックス設置開始
- 2018年度 ○ 3都県のすべての自治体と高齢者等の見守り協定締結 ※島しょ部除く  
○ 小規模多機能ホーム「コープ夢みらい北本」開設  
○ コープみらい財団が給付型奨学金事業スタート

# コープみらいの概況

※特記ない限り数値は2026年3月20日現在

名称	生活協同組合コープみらい
設立	2013年3月21日
本部所在地	〒336-8523 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
事業エリア	千葉県、埼玉県、東京都

## 出資金

出資金	726億9,486万円
-----	-------------

## 組合員数・組織率

組合員数	387万9,583人
組織率（総世帯数に対する組合員世帯の割合）	27.5%

## 役員体制

代表理事 理事長	熊崎 伸
副理事長	河田 喜一 古賀 摩希子〔非常勤〕
代表理事 専務理事	鳥羽 治明
常務理事（事業管掌）	大川 昌彦
常務理事（宅配事業本部長）	長島 淳一
常務理事（管理・開発管掌）	成田 章二
常勤理事（福祉事業担当）	圓尾 佐智子
常勤監事	木村 隆之

※理事長・副理事長および常勤役員を中心に記載しています（2026年6月4日現在）



## 経営情報はここから

<https://mirai.coopnet.or.jp/profile/financial/settle.html>

## 総事業高・供給高・経常剰余金等（2025年度）

総事業高	4,379億8,410万円
供給高	4,255億2,744万円
うち宅配事業	3,000億9,002万円
うち店舗事業	1,254億3,741万円
利用事業収入	1億3,917万円
福祉事業収入	25億1,143万円
その他事業収入	98億605万円
経常剰余金	90億350万円
総資産	2,577億8,264万円
純資産	1,854億4,497万円

## 職員数

正規職員在籍者数	3,083人
パート職員※在籍者数	10,320人
パート職員の正規職員換算人数	4,647人

※「パート職員」はパート・アルバイト職員、非常勤介護ヘルパー職員の合計です  
※コープデリ連合会などへの出向者は含んでいません

## 事業所などの状況

宅配センター数	76センター
配達車両台数（委託会社含む）	4,057台
店舗数	125店
うちスーパーマーケット（SM店）	73店
うち小型店（ミニコープ）	52店
介護福祉事業所数	57事業所

- 2019年度**
  - 「コープデリガス」開始
  - 看護小規模多機能ホーム「コープ夢みらい四街道」開設
  - コープ府中車返店、コープ国分寺内藤店、コープ葛飾白鳥店オープン
  - 台風15号、19号、21号災害の対応と支援活動
- 2020年度**
  - 新型コロナウイルス感染拡大の対応
  - 初の多層階センター、コープデリ東糞谷センター、コープデリ町屋センター開設
- 2021年度**
  - 子ども・子育て支援基金設立
  - SDGs重点課題「未来へつなごう」策定
  - コープ久喜店オープン

- 2022年度**
  - フードバンクなどに米の寄贈を開始（以降も継続）
  - 「コープみらいフェスタ」4年ぶりに開催
- 2023年度**
  - コープみらい創立10周年
  - コープ杉並井草店、コープ調布染地店（増床移転）オープン
  - 「健康経営」を宣言、健康経営優良法人2024（大規模法人部門）認定
- 2024年度**
  - 「コープデリグループビジョン2035」策定
  - コープ坂戸薬師町店、コープ幕張駅北口店オープン
- 2025年度**
  - コープかすかべ東店、コープ川口西店オープン
  - 宅配事業「夏季一斉配達休業」を初めて実施
- 2026年度**
  - 「コープデリグループ 人権方針」策定



コープみらいのマスコットキャラクター  
“ほべたん”と愛犬のきなこ

